



岐阜盲学校キャラクター「あいパンダ」

アイアイ通信

NO. 3

見え方の相談支援センター アイアイ教室 令和6年10月30日
(岐阜盲学校内)

10月に入っても、いつまでも暑い日が続いていましたが、やっと、秋らしさを感じるようになりました。みなさま、お元気でお過ごしでしょうか。

例年であれば文化祭の準備で盛り上がる時期ですが、今年度は12月に実施されるため佳境に入るのはもう少し先になりそうです。今年度は12月7日(土)の午前中の開催となります。各学部のステージ発表が中心です。よろしければお越しいただき、児童生徒の学習の成果をご覧ください。

夏休み明け、残暑厳しい中再開したアイアイ教室に、子ども達がまた元気に来校してくれています。9月から10月のアイアイ教室の様子を紹介します。



9月～10月のアイアイ教室



鈴のついたゴムひもを持ってシャンシャンと振りながら、音楽に合わせて前や後ろ、右や左に倒れます。歌やリズムを楽しみながら動きへとつなげていきます。



飛び跳ねる動作は、心地よいのでトランポリンは子どもたちの好きな遊びのひとつです。自然にバランスをとって座位を保とうとするので体幹の強化につながります。滑り台も姿勢を保とうとするため、筋力が付いて、バランス感覚が育ちます。



絵本『だるまさんの』にあわせて目や歯、髪の毛など体の部分を触ります。絵本を通してボディイメージを育てます。



「見え方の相談支援センター」から

今回は、『視覚障害乳幼児の子育てハンドブック』から、メガネの装用について抜粋してお伝えします。

初めは装着している時間や活動内容を決めたり、好きなテレビ・ビデオ視聴の時間や活動の時につけている約束をしたりするのもひとつの方法です。合わせてかけていられたことを賞賛することもぜひ忘れず加えてください。

快適な状況の中で眼鏡を使用していく為には、関わる側が眼鏡の汚れや傷に留意する必要があります。汚れは、薄めた食器用の洗剤で優しくこすりとり、水道水で洗うととれます。傷がレンズ中央や全体についている眼鏡は磨りガラス越しに見ている状態になっていると考えられます。傷がひどいときは、眼科医に相談してみることも必要です。

出典：『視覚障害乳幼児の子育てハンドブック』 杉山利恵子、森栄子 編著

アイアイ教室に通ってくる子どもたちの中には、メガネをかけているお友達もいます。「家では、はずしてしまうのですが、アイアイ教室の間はかけていられます。」とか、「保育園に行っている間はメガネをはずしません。」などお家のひとと約束をして頑張っているのだなと感心します。

メガネを購入したメガネ屋さんには度々足を運び、フィッティングの状態をみてもらったり、クリーニングをしてもらったりすることをおすすめします。メガネをいつも快適な状態に保つことが、長くかけていられることにつながります。

11月～12月のアイアイ教室開催日

11月の予定



水曜日・・・6日、13日、20日、27日

木曜日・・・14日、28日

12月の予定



水曜日・・・18日

木曜日・・・12日、19日

※アイアイ教室は、水・木曜日の10時50分～12時30分に行っています。

アイアイ教室開催日は変更することがあります。参加される場合は、必ず事前にご確認下さい。また、参加される旨を連絡してください。よろしくお願いいたします。



お問い合わせ

見え方の相談支援センター(岐阜盲学校内)
電話番号：058-262-1271
担当：塩田・高橋

